

大麦特報 (第4号)

令和8年3月下旬
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

大麦の生育は概ね近年並みとなっています。2月上旬まで低温・降雪がみられたものの、2月中下旬以降は気温が高く推移し、今後も高めで推移すると予想されていることから、止葉展開期は4月3日～6日頃（出穂期は4月14日～17日頃）を見込んでいます。

高収量・高品質の大麦を目指し、排水対策や適期防除を徹底しましょう。

1 排水対策

根の健全化を図り登熟を良好にするため、再度、排水溝の手直しや、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。



排水溝の崩れを直し、
速やかに排水しましょう

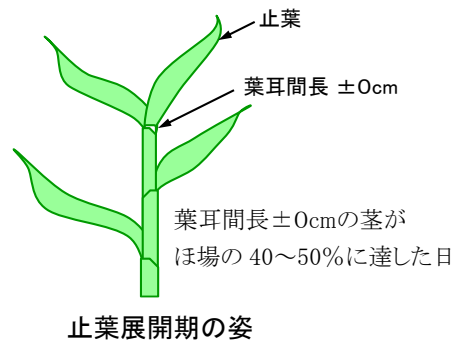
2 止葉展開期追肥 (分施体系のみ)

地域や播種日により生育に差があるため、ほ場ごとに止葉が展開したことを確認し、生育量や葉色に応じて追肥しましょう。

下記の目安を参考に、適期・適量を施用しましょう。

【分施体系ほ場の追肥の目安】

追肥時期	葉色	予想穂数 (m ² 当たり)	10a当たり施用量
4月3日 ～ 4月6日頃	5未満	500本未満	窒素 2kg (硫安10kg)
		500本以上	窒素1～2kg (硫安5～10kg)
	5以上	500本未満	窒素 1kg (硫安5kg)
		500本以上	追肥しない



止葉展開期の姿

※追肥時期が早いと整粒歩合が低下し、施用時期が遅れたり施用量が多いと、倒伏や硝子粒の増加につながります

※肥効調節型基肥（エコ大麦4号）栽培体系の場合は、追肥不要です

3 赤かび病の防除

赤かび病は、特に開花始め（1回目）の防除が重要です。適期の2回防除を徹底しましょう。

地域や播種日によって生育差があるため、必ずほ場ごとの開花状況を確認して防除しましょう。

【防除時期等の目安】(10月上旬播種)

防除時期	1回目	2回目
	穂揃期(開花始め) 4月17日～20日頃	1回目から7日後
液剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	ワークアップフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a

※可能な限り防除効果の高い液剤体系としましょう

※防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう



赤かび病被害粒
(混入限度0.0%)

春の農作業安全運動実施中 (3月1日～5月31日)

農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底しましょう！